

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【公開番号】特開 2013-45527 (P2013-45527A)  
 【公開日】平成 25 年 3 月 4 日 (2013.3.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-011  
 【出願番号】特願 2011-180874 (P2011-180874)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 24/38 (2011.01)

H 0 1 R 24/48 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 24/38

H 0 1 R 24/48

【手続補正書】  
 【提出日】平成 26 年 8 月 8 日 (2014.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中心端子と前記中心端子の外周側に配置された接地端子とを有する接続プラグが接続されると共に内部にコンデンサーが配置された電子機器に設けられ、

絶縁性材料によって形成され前記接続プラグが挿入される挿入用開口が形成されたハウジングと、

前記中心端子が接続されると共に前記コンデンサーに接続された中心電極と、

前記中心電極の外周側に配置され前記接地端子が接続されると共に前記コンデンサーに接続された第 1 の接地電極と、

前記中心電極の外周側に配置され前記接地端子が接続されると共に突入電流を制限する抵抗に直列に接続され前記抵抗を経由して前記コンデンサーに接続された第 2 の接地電極とを備え、

前記接続プラグの接続時に前記接地端子の前記第 1 の接地電極への接続前に前記接地端子の前記第 2 の接地電極への接続が行われる位置に前記第 1 の接地電極と前記第 2 の接地電極が配置された

接続ジャック。

【請求項 2】

前記中心端子が前記中心電極に接続され前記接地端子が前記第 1 の接地電極に接続されていない状態において前記第 2 の接地電極に接続されたときの前記抵抗における発熱を抑制して前記抵抗を保護する保護素子が配置された

請求項 1 に記載の接続ジャック。

【請求項 3】

前記第 1 の接地電極と前記第 2 の接地電極がそれぞれ弾性変形可能とされ、

前記第 1 の接地電極と前記第 2 の接地電極が前記接地端子に対して弾性により押し付けられた状態で接続されるようにした

請求項 1 又は請求項 2 に記載の接続ジャック。

【請求項 4】

前記第 1 の接地電極と前記第 2 の接地電極が前記中心電極を挟んで 180° 反対側に配置

された

請求項 1、請求項 2 又は請求項 3 に記載の接続ジャック。

【請求項 5】

前記接続プラグの接続時に前記接地端子の前記第 2 の接地電極への接続前に前記中心端子の前記中心電極への接続が行われる位置に前記第 2 の接地電極と前記中心電極が配置された

請求項 1、請求項 2、請求項 3 又は請求項 4 に記載の接続ジャック。

【請求項 6】

内部にコンデンサー及び電子回路が配置された筐体と、

中心端子と前記中心端子の外周側に配置された接地端子とを有する接続プラグが接続される接続ジャックとを備え、

前記接続ジャックが、

絶縁性材料によって形成され前記接続プラグが挿入される挿入孔が形成されたハウジングと、

前記中心端子が接続されると共に前記コンデンサーに接続された中心電極と、

前記中心電極の外周側に配置され前記接地端子が接続されると共に前記コンデンサーに接続された第 1 の接地電極と、

前記中心電極の外周側に配置され前記接地端子が接続されると共に突入電流を制限する抵抗に直列に接続され前記抵抗を経由して前記コンデンサーに接続された第 2 の接地電極とを備え、

前記接続プラグの接続時に前記接地端子の前記第 1 の接地電極への接続前に前記接地端子の前記第 2 の接地電極への接続が行われる位置に前記第 1 の接地電極と前記第 2 の接地電極が配置された

電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

第 1 の接地電極 15 は中心電極 14 の接続部 14 a の外周側に配置され、外周部 10 の内部に配置された内側配置部 17 と内側配置部 17 に連続され外周部 10 の外側に位置されたタブ部 18 とから成る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

回路部 21 は、第 1 の接続ライン 25 が中心電極 14 のタブ部 14 b に接続され、第 2 の接続ライン 26 が第 1 の接地電極 15 のタブ部 18 に接続され、第 3 の接続ライン 27 が第 2 の接地電極 16 のタブ部 20 に接続されている。第 1 の接続ライン 25 と第 2 の接続ライン 26 は第 4 の接続ライン 28 に接続され、第 4 の接続ライン 28 上にはコンデンサー 22 が接続されている。第 1 の接続ライン 25 と第 2 の接続ライン 26 は電子回路に接続され、第 2 の接続ライン 26 は接地されている。